



# 調査から

表一 2 中学校の学校数等の推移

(単位: 校, 人)

年 度	学 校 数			学 級 数	生 徒 数	教 員 数 (本務者)	1 学 級 当 たり の 生 徒 数	本 務 教 員 1 人 当 たり の 生 徒 数
	計	本 校	分 校					
昭和62年度	234( 7)	234( 7)	—	3 763	146 440	6 674	38.9	21.9
昭和63年度	235( 7)	235( 7)	—	3 702	143 113	6 591	38.7	21.7
平成元年度	235( 7)	235( 7)	—	3 694	138 249	6 649	37.4	20.8
平成 2 年度	234( 7)	234( 7)	—	3 707	133 572	6 665	36.0	20.0
平成 3 年度	236( 7)	236( 7)	—	3 762	130 700	6 882	34.7	19.0
平成 4 年度	238( 7)	238( 7)	—	3 712	128 382	6 835	34.6	18.8

※注 ( )内は私立の学校数で、内数である。

度より0.2人減少した。

### (3) 児 童 数

児童数は 227,208人(男子 115,753人, 女子 111,455人)で、前年度より 4,561人減少し、昭和58年度から10年連続の減少となった。

児童数を市町村別にみると、増加したのが3市17町村、逆に減少したのが16市49町村、増減なしが1市1村である。

また、第1学年の児童数(本年度小学校入学者)は 35,322人(男子 17,888人, 女子 17,434人)で、前年度より1,537人減少した。

### (4) 教 員 数 (本 務 者)

本務教員数は11,038人で、前年度より94人減少した。

本務教員数を男女別にみると、男子教員が4,501人(40.8%)で、女子教員が6,537人(59.2%)となり、女子教員の占める割合は、前年度より0.6ポイント上昇した。

本務教員1人当たりの児童数は20.6人で、前年度より0.2人減少した。

## 2. 中 学 校 (表一 2)

### (1) 学 校 数

学校数は本校のみ 238校で、前年度より

2校増加した。

本年度の新設校は勝田市立田彦中学校、つくば市立吾妻中学校の2校である。

(2) 学級数

学級数は3,712学級で、前年度より50学級減少した。

1学級当たりの生徒数は34.6人で、前年度より0.1人減少した。

(3) 生徒数

生徒数は128,382人(男子65,684人、女子62,698人)で、前年度より2,318人減少し、昭和63年度から5年連続の減少となった。

生徒数を市町村別にみると、増加したのが2市26町村、逆に減少したのが18市40町村、増減なしが1村である。

また、第1学年の生徒数(本年度中学校入学者)は41,681人(男子21,253人、女子20,428人)で、前年度より838人減少した。

(4) 教員数(本務者)

本務教員数は6,835人で、前年度より47人減少した。

本務教員数を男女別にみると、男子教員が4,186人(61.2%)で、女子教員が2,649人

表一三 高等学校の学校数等の推移

(単位:校,人)

年 度	学 校 数	生 徒 数			教 員 数 (本 務 者)	本 務 教 員 1人当り の 生 徒 数
		計	男	女		
昭和62年度	130(19)	127 270	63 874	63 396	6 421	19.8
昭和63年度	130(19)	132 474	65 918	66 556	6 577	20.1
平成元年度	131(20)	135 787	67 574	68 213	6 712	20.2
平成2年度	131(20)	137 069	68 270	68 799	6 769	20.2
平成3年度	131(20)	133 183	66 268	66 915	6 808	19.6
平成4年度	131(20)	128 548	64 029	64 519	6 895	18.6

※注 ( )内は私立の学校数で、内数である。

## ■ 調査から

表一４ 幼稚園の園数等の推移

(単位：園，人)

年 度	園 数			在 園 者 数			修了者数	就 園 率	教 員 数 (本務者)
	計	公 立	私 立	計	公 立	私 立			
昭和62年度	445	245	200	50 801	18 611	32 190	27 294	71.9	2 468
昭和63年度	449	247	202	51 366	18 431	32 935	26 831	71.4	2 485
平成元年度	448	245	203	51 605	17 876	33 729	27 196	72.5	2 527
平成２年度	448	245	203	51 107	17 181	33 926	26 916	72.2	2 549
平成３年度	445	243	202	50 423	16 431	33 992	26 317	71.4	2 565
平成４年度	443	242	201	49 901	15 957	33 944	25 177	71.3	2 608

(38.8%)となり、女子教員の占める割合は、前年度より0.8ポイント上昇した。

本務教員1人当たりの生徒数は18.8人で、前年度より0.2人減少した。

### 3. 高等学校（全日制・定時制）（表一3）

#### (1) 学 校 数

学校数は131校(公立111校,私立20校)で、前年度と同数である。

#### (2) 生 徒 数

生徒数は128,548人(男子64,029人,女子64,519人)で、前年度より4,635人減少し、平成3年度に引き続き減少した。

生徒数を公立・私立別にみると、公立98,151人,私立30,397人で、私立校の生徒の占める割合は23.6%となっている。

また、本科の生徒数(128,452人)を全日制・定時制別にみると、全日制126,603人,定時制1,849人で、定時制の生徒の占める割合は1.4%となっている。

#### (3) 教 員 数（本務者）

本務教員数は6,895人で、前年度より87人増加し、過去最高となった。

本務教員1人当たりの生徒数は18.6人で、前年度より1.0人減少した。

4. 幼稚園 (表一4)

(1) 園 数

園数は本園のみの443園(公立242園, 私立201園)で, 前年度より2園減少した。

(2) 在園者数

在園者数は49,901人(男子25,396人, 女子24,505人)で, 前年度より522人減少した。

在園者数を公立・私立別にみると, 公立15,957人, 私立33,944人で, 私立幼稚園の園児の占める割合は68.0%と前年度を0.6ポイント上回り, 過去最高となった。

本年度小学校第1学年児童数に対する本年3月の幼稚園修了者の比率(就園率)は71.3%で, 前年度より0.1ポイント低下した。

(3) 教 員 数 (本務者)

本務教員数は2,608人で, 前年度より43人増加し, 過去最高となった。

本務教員1人当たりの園児数は19.1人で, 前年度より0.6人減少した。

5. 盲・聾・養護学校 (表一5)

(1) 学 校 数

学校数は盲学校1校, 聾学校2校, 養護学校17校で, 前年度と同数である。

表一5 盲・聾・養護学校の学校数等の推移

(単位: 校, 人)

年 度	盲				聾				養 護			
	学 校 数	在 学 者 数	教 員 (本 務 者) 数	職 員 (本 務 者) 数	学 校 数	在 学 者 数	教 員 (本 務 者) 数	職 員 (本 務 者) 数	学 校 数	在 学 者 数	教 員 (本 務 者) 数	職 員 (本 務 者) 数
昭和62年度	1	123	54	41	2	204	86	55	17	1 961	707	237
昭和63年度	1	114	51	40	2	205	85	55	17	1 997	732	239
平成元年度	1	112	52	40	2	194	86	55	17	2 021	736	243
平成2年度	1	103	52	40	2	188	85	55	17	1 994	742	246
平成3年度	1	101	55	41	2	188	90	57	17	2 008	775	245
平成4年度	1	94	64	42	2	185	94	58	17	2 026	840	254

表一六 進路別卒業生数（中学校）

（単位：人，％）

年 度	卒業生数	A. 高等学校等 進学者	B. 専修学校 (高等課程) 進学者	C. 専修学校 (一般課程) 等入学者	就職者	無業者	死 亡 ・ 不 詳	A,B,C の うち 就職して いる者 (再掲)	進学率	就職率
昭和62年度	46 795	43 983	…	766	1 399	636	11	218	94.0	3.5
昭和63年度	49 006	45 928	…	884	1 501	679	14	282	93.7	3.6
平成元年度	49 265	46 286	…	868	1 478	628	5	288	94.0	3.6
平成2年度	48 690	46 124	246	525	1 368	420	7	339	94.7	3.5
平成3年度	45 766	43 349	229	518	1 226	442	2	241	94.7	3.2
平成4年度	44 268	42 219	205	368	1 012	463	1	154	95.4	2.6

※注1 高等学校等進学者，専修学校(高等課程)進学者，専修学校(一般課程)等入学者には，進学又は入学して就職している者を含む

注2 平成2年度までは，専修学校等入学者であったものを，平成3年度から専修学校(高等課程)進学者と専修学校(一般課程)等入学者に分けて集計を行った。

## (2) 在学者数

在学者数は盲学校94人，聾学校185人，養護学校2,026人で，前年度より盲学校が7人減少，聾学校が3人減少，養護学校が18人増加した。

## (3) 教職員数（本務者）

本務教員数は盲学校64人，聾学校94人，養護学校840人で，前年度より盲学校が9人，聾学校が4人，養護学校が65人と，それぞれ増加した。

本務職員数は盲学校42人，聾学校58人，養護学校254人で，前年度より盲学校が1

人，聾学校が1人，養護学校が9人と，それぞれ増加した。

## II. 卒業後の状況調査

## 1. 中学校（表一六）

平成4年3月の中学校卒業生数は44,268人（男子22,733人，女子21,535人）で，前年より1,498人減少した。

卒業生を進路別にみると，「高等学校等進学者」（進学し，かつ就職した者を含む。）42,219人（95.4%），「専修学校(高等課程)進学者」（進学し，かつ就職した者を含む。）205人（0.5%），

「専修学校(一般課程)等入学者」(入学し、かつ就職した者を含む。)368人(0.8%),「就職者」(前記の進学者又は入学者に含まれる者を除く。)1,012人(2.3%),「無業者」463人(1.0%),「死亡・不詳」1人となっている。

(1) 進学状況

高等学校等進学者は42,219人で、前年より1,130人減少した。

高等学校等進学率は95.4%で、前年の94.7%を0.7ポイント上回り、過去最高となった。

進学率を男女別にみると、男子94.0%、

女子96.8%で、女子が男子を2.8ポイント上回っている。

男子の進学率は、前年の93.4%を0.6ポイント上回り、女子の進学率は、前年の96.1%を0.7ポイント上回って、男女共に過去最高となった。

進学率を市町村別にみると、最も高いのが御前山村(100.0%)で、次いで常北町(99.4%)、新利根村(99.2%)の順となっており、逆に低いのが五霞村(87.1%)で、次いで里美村(87.8%)、石下町(88.9%)の順となっている。

表一七 進路別卒業者数(高等学校)

(単位:人,%)

年 度	卒業者数	A. 大 学 等 進 学 者	B. 専 修 学 校 (専 門 課 程) 進 学 者	C. 専 修 学 校 (一 般 課 程) 等 入 学 者	就 職 者	無 業 者	死 亡 ・ 不 詳	A.B.C の うち 就 職 して いる 者 (再 掲)	進 学 率	就 職 率
昭和62年度	37 829	8 926	…	11 067	15 564	2 264	8	278	23.6	41.9
昭和63年度	38 753	9 113	…	11 828	15 744	2 049	19	278	23.5	41.3
平成元年度	40 590	9 610	…	12 336	16 672	1 958	14	224	23.7	41.6
平成2年度	42 126	10 272	7 170	6 243	16 877	1 559	5	265	24.4	40.7
平成3年度	43 905	11 352	7 660	6 425	16 699	1 764	5	221	25.9	38.5
平成4年度	44 020	11 704	8 434	6 194	16 063	1 623	2	235	26.6	37.0

※注1 大学等進学者、専修学校(専門課程)進学者、専修学校(一般課程)等入学者には、進学又は入学して就職している者を含む。

注2 平成2年度までは、専修学校等入学者であったものを、平成3年度から専修学校(専門課程)進学者と専修学校(一般課程)等入学者に分けて集計を行った。

(2) 就職状況

就職者1,012人に、高等学校等進学者のうち就職している者149人、及び専修学校(一般課程)等入学者のうち就職している者5人を加えた、就職者総数は1,166人で、前年より301人減少した。

就職率は2.6%で、前年を0.6ポイント下回り、過去最低となった。

就職者総数を県内・県外別にみると、県内974人、県外192人で、県外就職者の占める割合は16.5%となり、前年より3.0ポイント上昇した。

2. 高等学校(表一七)

平成4年3月の高等学校卒業生数は44,020人(男子21,723人、女子22,297人)で、前年より115人増加し、過去最高となった。

卒業生を進路別にみると、「大学等進学者」(進学し、かつ就職した者を含む。)11,704人(26.6%)、「専修学校(専門課程)進学者」(進学し、かつ就職した者を含む。)8,434人(19.2%)、「専修学校(一般課程)等入学者」(入学し、かつ就職した者を含む。)6,194人(14.1%)、「就職者」(前記の進学者又は入学者に含まれる者を除く。)16,063人(36.5%)、「無業者」1,623人(3.7%)、「死亡・不詳」2人となっている。

(1) 進学状況

大学等進学者は11,704人で、前年より352人増加した。

大学等進学率は26.6%で、前年を0.7ポ

イント上回り、過去最高となった。

進学率を男女別にみると、男子が18.7%で、前年を0.6ポイント上回り、女子が34.2%で、前年を0.9ポイント上回って、過去最高となった。

(2) 就職状況

就職者16,063人に、大学等進学者のうち就職している者18人、専修学校(専門課程)進学者のうち就職している者63人、及び専修学校(一般課程)等入学者のうち就職している者154人を加えた就職者総数は16,298人で、前年より622人減少した。

就職率は37.0%で、前年を1.5ポイント下回り、過去最低となった。

就職者総数を県内・県外別にみると、県内12,979人、県外3,319人で、県外就職者の占める割合は20.4%となり、前年より0.9ポイント低下した。

就職先を産業別にみると、製造業6,958人(就職者総数の42.7%)と最も多く、次いで卸売・小売業、飲食店3,285人(20.2%)、サービス業3,189人(19.6%)等となっている。

就職者総数を職業別にみると、技能工・採掘・製造・建設作業員及び労務作業員6,135人(就職者総数の37.6%)と最も多く、次いで事務従事者4,781人(29.3%)、販売従事者2,324人(14.3%)等となっている。

(統計課・人口労働グループ)